

# 平成23年度決算総括質疑の概要

平成24年第3回二宮町議会定例会

日時 平成24年9月18日(火) 午前9時30分より

No.	質問議員	質問の概要
1	近藤行宏 議員	<p>1. にのみや総合長期プラン、達成状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現町長の下(平成18年12月から)どの位のプランが実現できたのか</li> <li>・「町の基盤再生プロジェクト」「誰もが安心して暮らせるまちづくりプロジェクト」「町の体制プロジェクト」を重点プロジェクトの3本柱として打ち出されたが、この結果、それぞれの検証はどうであったのか</li> </ul> <p>2. 財政健全化判断基準および各指標から見る、決算状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来負担比率の上下落が激しい要因と、今後の見通しは</li> <li>・経常収支比率、悪化の要因と、今後の見通しは</li> <li>・指数悪化の要因をどのように捉え、その検証内容を、今後の行財政運営へ、どのように反映されていくお考えか</li> </ul> <p>3. 基金を統廃合して、東大果樹園跡地の購入財源とした考え方を、改めて問う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政運営への影響の度合いも含めての考え方は</li> <li>・さらに、基金に対する町の基本的な考え方を伺う</li> </ul> <p>4. 各事業について</p> <p>①地域防災への指導力を、どう発揮されていかれるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20地区の自主防災組織を、今まで以上に高め同レベルにし、防災安全課が、各地区をどう引っ張っていくのか</li> </ul> <p>②子育て支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援事業の検証と、今後の方向性は</li> <li>・国立小児病院跡地の活用については、未来への投資も必要と感じ、また、社会保障と税一体改革法案の中に「子ども・子育て支援」にある、幼保一体の整備という観点からの、活用への考えは</li> </ul> <p>③二宮の顔である北口、南口の活性化への見通しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栄通り商店街の、賑わい再生に向けた方向性がどう出て、今後の青写真を、どう描かれているのか、また、効果は上がっているのか</li> <li>・北口商店街活性化について、散策路の基盤整備も必要と感じ、ソフト面だけでなく、ハード面の取り組みへの考えは</li> <li>・北口商店街道路について、今後の方針、方策は</li> </ul> <p>④吾妻山公園再整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り観光拠点に絡めて、菜の花シーズンに特化されているようではないが、吾妻山公園の未来像も含めての、更なる一手は</li> <li>・借地料について、借地年限を区切ること、買取交渉を進める考えは</li> <li>・来園者への、例えば「協力金なり、入山料なるもの」を徴収する考えは</li> </ul> <p>⑤特産物普及奨励事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主力普及品が、落花生、湘南ゴールドから、オリーブへのシフトなのかと感じられる中、2年間で、落花生、湘南ゴールドの生産拡大が図られたのか、更に二宮ブランドと連携した特産品加工に活用できたのか</li> <li>・町のブランドとして、3主力普及品を、どう情報発信し知名度をアップされるのか、将来展望も含めて示されたい</li> </ul> <p>⑥ふたみ記念館の現状と打開策は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入館者の伸び悩みに喘いでいると、云わざると得ない状況の原因はどこにあるのか。生涯学習課の分析、検証結果は</li> <li>・入館料の見直しは</li> <li>・PRも含めて、どのようにテコ入れし、現状を打破されていかれるのか</li> </ul>

2	小笠原陶子議員	<p>1. 23年度には、基金を統廃合し、補正予算で東大果樹園跡地を4億5千万円で議会を二分する議論がなされ、取得することとした。しかし実際には、跡地の土壌汚染で引き渡し大幅に遅れている。現在の果樹園跡地は荒れ放題で見る影もない。</p> <p>23年度決算では、二宮町小学校施設の大規模改修事業の設計を720万4060円で実施した。通例では24年度に工事が行われるところ未実施。第3分団詰所整備事業も用地は購入したし、設計もしたが、24年度での着工は見送られている。東大果樹園跡地を購入するために、やるべき事業を先送りにして購入契約した。3月定例会2012年度予算総括質疑で、町長は利用計画について、二宮駅北口の再整備を軸とした将来の公共施設移転の代替地などに活用する構想を上げ、土地取得後に具体的な検討を進めていくと述べたが、暫定的な土地の利用を考えている間の管理はどのようにしていくのか。</p> <p>8月末で、東大果樹園跡地の利用検討審議会的一般公募の募集が終わったが、本格的な整備計画を作っていくための市民参加の在り方とそのタイムスケジュールを問う。</p> <p>2. 二宮漁港の整備方針の今後と二宮海岸の侵食問題について。</p> <p>23年度決算に二宮漁港漂砂調査委託料7,980,000円が実施された。当初の離岸堤では砂が溜まりすぎるから、潜堤にすることになったが、速度は変わっても漁港予定地に砂が溜まる。町長は漁港の背後地の安全確保が必要だというなら、年々漁業従事者が減る中に、町として漁港の必要性を客観的に判断する 때가来ている。</p> <p>二宮町の海岸を観光の拠点にしたいというが、観光客は漁港でなくても、海岸を愛する人が集まってくる。現にこの夏も釣り客や、バーベキュー、オートキャンプで賑わった。</p> <p>海岸保全は県の事業で予算執行されるが、漁港は町の管理となり、毎年、養浜や台風の被害復旧工事の費用が計上される。砂浜を取戻すことがすべてに優先されるなら、漁港を守るという矛盾する計画は見直すべきだが、町の冷静な判断を問う。</p> <p>3. 二宮町地域防災計画の見直しについて。</p> <p>県では、神奈川県地域防災計画を24年4月版として策定した。現在、町の地域防災計画は18年度修正版がある。23年3月11日以降、その計画の見直しが行われている。地域防災計画の改定に町民はどのように関わっているのか。</p> <p>防災には、あらゆる世代が危機意識を持って対応しなければならないが、特に今回は子どもの命を守るという視点から確認したい。小さい子を持つ保護者の自助・共助・公助の進め方を問う。</p>
---	---------	--

備考：2番目の質問開始時刻は、直前の質問終了後となりますので、不確定です。